

リニューアルオープンしてさらに魅力がUPした 国分寺市プレイステーション

今年1月から子どもの仕事体験・居場所づくり事業が始まったプレイステーション。リニューアルオープン後の様子をうかがってきました。

秘密基地

土地を区画ごとに貸し出し中。材木を使って自分で基地をつくり、自分で管理する。1ヶ月ごとに更新可。親子でチャレンジする人も多い。



駄菓子屋「だがし」

駄菓子屋をオープンした目的は、子どもたちに駄菓子屋で働いてもらうため。駄菓子屋で働くと「プレ通貨」で賃金を払っている。通貨も手作りなので、偽造対策をどうすればいいかということも子どもを交えて話し合った。



夕暮れカフェ

平日 17時30分から「夕暮れカフェ」は13歳から18歳限定のフリースペースです。ここに来て、家・学校以外にも地域に自分の場所があることを知ってほしい。イベント「夕暮れフェス」も開催している。

船のデッキ

裸足での利用なので室内からも自由に行き来できる。遊んでいる子どももいれば、デッキで寝転んでいるパパもいる。2階の親子ひろば「BOUKEN どんどこ」からデッキの様子を見られる。

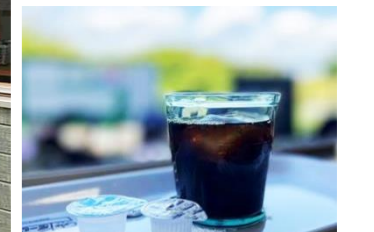
特定非営利活動法人 冒険遊び場の会

子どもたちが地域で生き生きと遊び、すこやかに成長できるように、冒険遊び場事業などを行っている団体です。

遊び場の運営：国分寺市プレイステーション、こくぶんじ青空ひろば、ほうけんもり
子育て支援：東部地区拠点親子ひろば「BOUKEN たまご」プレイステーション内親子ひろば「BOUKEN どんどこ」
住所：国分寺市並木町1-7-7ピッコロ101号
電話：042-202-0017
詳細はホームページをご参照ください。



カフェ



たくさんの方にプレイステーションに来てゆっくりして欲しくて土・日曜日11時から「cafe どーにっち」をオープンした。ホットコーヒーはハンドドリップ、スパイスティーやクッキーなどこだわりを持って提供している。ここで買った物を持って船のデッキでくつろぐことができる。カフェができたことで、家族での利用が以前よりも増えた。通常のメニュー以外にスタッフが作る「ラッキーメニュー」がある。

特定非営利活動法人冒険遊び場の会

代表理事 武藤陽子さん

0歳の赤ちゃんから18歳までの子どもたちが遊びに来ることができます。今回、新しく様々な場所ができました。ぜひ、その様々な場所に来て、ご堪能ください。そして、子どもたちの遊んでいる様子をご覧ください。



特定非営利活動法人冒険遊び場の会

プレリーダー 奥富裕司さん

プレイステーションは子ども主体の冒険遊び場。火おこし、工作、水遊び、砂場や泥んこで思いっきり遊ぶのも、のんびりくつろぐのも自由自在。私たちプレリーダーが、みんなの「やってみたい」をサポートします!



【編集後記】

今回プレイステーション取材させていただき、一つ一つ手作りで仕上げていく職人技に驚かされました。子どもたちの遊び道具はもちろんのこと秘密基地の区画整備等のプレイステーション内での組織作り。どれもこれから成長し、社会とつながっていく上で必要な経験と知識ですね。また、夕暮れカフェは地域に自分の居場所があることを知ってほしいという想いで作られており、プレイステーションが地域と人をつなぐ大切な場所になっていると思いました。みなさんの活動があって国分寺市の地域がつながり、子育て支援の輪がひろがります。今後の活動もみんな驚きや楽しみがあるのか楽しみです。取材にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。読んでいただいた皆さん、ぜひ感想などお寄せ頂けたらと思います。

興味がある方はぜひご参加ください
国分寺子ども・子育て支援円卓会議



国分寺市では、地域の中で、子育て支援の活動を行う行政機関や法人、団体、これから子育て支援を行いたいと思っている団体や市民などが、互いに協力し合い、子育てしやすく、子どもたちが健やかに成長できるまちを作っていくことを目指して、市内における子育て支援の情報交換できる場として、国分寺子ども・子育て支援円卓会議を行っています。



発行 令和4年10月
編集 国分寺市子ども家庭部子育て相談室
子ども家庭支援センター地域担当
〒185-0034 国分寺市光町3-13-20
☎ 042-572-8138 fax 042-572-0481
✉ kodomokatei@city.kokubunji.tokyo.jp